

2022年3月期 決算説明会資料

2022年5月23日

東京証券取引所スタンダード市場 証券コード：5162

サマリー

- 2022年3月期は、新型コロナウイルス感染症の拡大から、徐々に経済活動が回復し始め、特に自動車市場向けで受注が増加し、増収増益となった。
- 医療用ゴム製品の一部での在庫調整も、通常医療の再開にあわせて徐々に解消傾向が見られる。
- 2023年3月期の業績見通しは、中国の一部地域のロックダウンの影響、国際情勢不安、急激な為替変動、材料の調達難や価格上昇など、不安定要素があり、増収を見込むが利益は減益を予想。

2022年3月期決算会説明資料 目次

会社概要、海外展開、事業系統図	3～6
-----------------	-----

I. 2022年3月期決算実績

1. 連結決算実績	7
2. 連結設備投資実績	8
3. 中期事業分野	9
4. 連結セグメント別実績－中期事業分野	10
5. 主要製品実績	11～14
6. 連結子会社の損益実績	15
7. 連結貸借対照表の状況	16
8. 連結キャッシュフロー実績	17

II. 2023年3月期の見通しについて

1. 経営方針・経営戦略	18
2. 事業分野別の取り組み	19～24
3. 連結決算見通し	25
4. 連結決算見通し（上期下期比較）	26
5. 中期事業分野別見通し	27
6. 主要製品の通期売上見通し	28
7. 連結設備投資計画	29
8. 配当計画	30

会社概要

会社名	株式会社朝日ラバー
所在地	埼玉県さいたま市大宮区
創業	1970年5月
資本金	5億1,687万円 (2022年3月末現在)
従業員数	327名 (うち正社員315名) (2022年3月末現在)
主な事業内容	工業用ゴム製品の製造・販売
子会社	株式会社朝日 F R 研究所 ARI International Corporation 朝日橡膠 (香港) 有限公司 東莞朝日精密橡膠制品有限公司 朝日科技 (上海) 有限公司



本社

生産拠点

国内は福島県に4つの拠点を設け、それぞれの特徴を活かしたものづくりを進めています。また海外の拠点とあわせて、お客様に効率的に製品をお届けできる体制を整えています。



精密ゴム製造環境



中国現地調達対応



電子部品対応 CR仕様

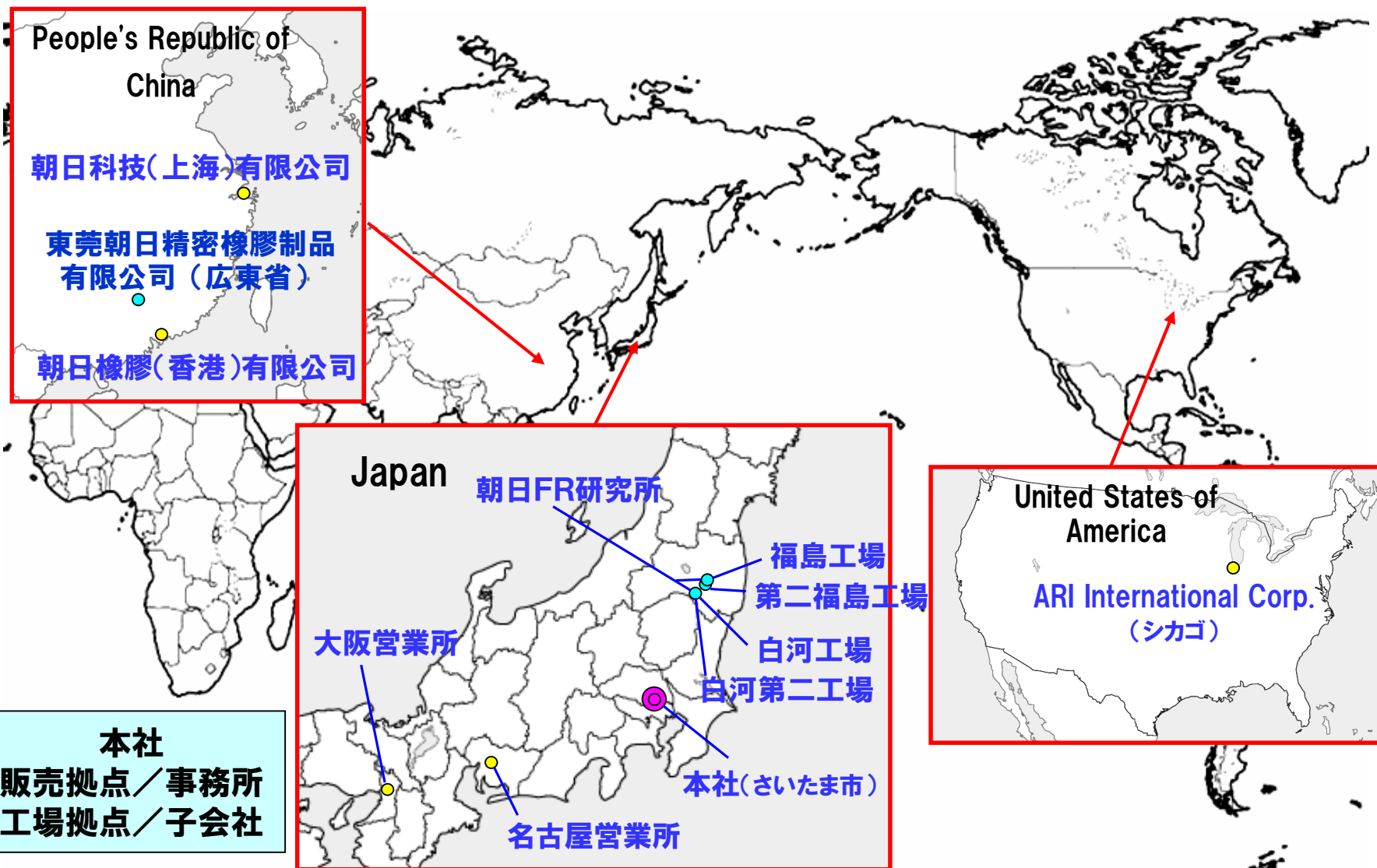


医療ゴム製造環境 水処理仕様



解析・体外診断 CR仕様

海外展開



事業系統図

株式会社朝日FR研究所



株式
会社

朝日ラバー

朝日橡膠(香港)
有限公司

東莞朝日精密橡膠
制品有限公司

朝日科技(上海)
有限公司

ARI International
Corp.

国内・アジアの顧客

中国の顧客

北米・欧州・中南米の顧客

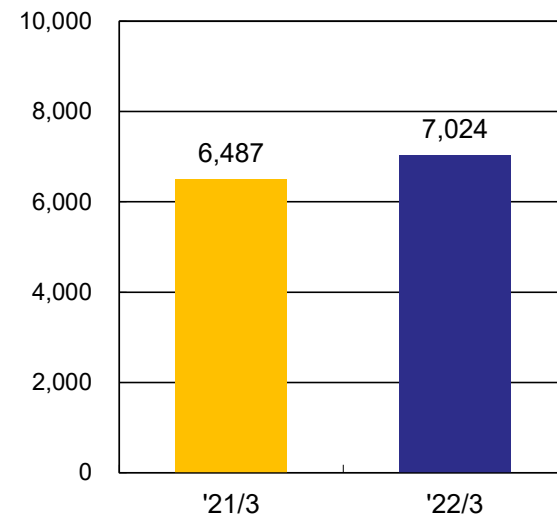
I-1. 連結決算実績（前期比）

（単位：百万円、％）

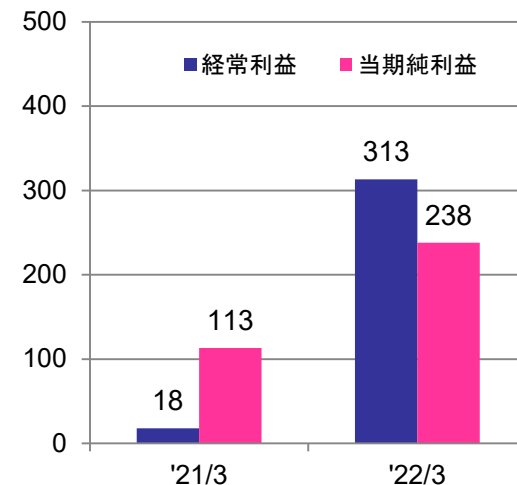
	2021年3月期		2022年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期増減率
売上高	6,487	100.0	7,024	100.0	8.3
売上総利益	1,254	19.3	1,691	24.1	34.8
営業損益	▲92	-	291	4.1	-
経常利益	18	0.3	313	4.5	1,614.2
当期純利益	113	1.8	238	3.4	109.6

●新型コロナウイルス感染症の拡大期から経済を動かす回復期に入り、受注が増加したため増収増益となった。

（単位：百万円） 連結売上高実績



（単位：百万円） 連結利益実績



（単位：百万円、％）

セグメント別	2021年3月期		2022年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期増減率
工業用ゴム事業	5,336	82.3	5,830	83.0	9.3
医療・衛生用ゴム事業	1,151	17.7	1,193	17.0	3.6
売上高	6,487	100.0	7,024	100.0	8.3

I-2. 連結設備投資実績

設備投資額 163百万円

減価償却費 455百万円

事業分野別設備投資内訳 (単位：百万円)

光学事業	25	透明レンズの生産設備など
医療・ライフサイエンス事業	42	回路製品の生産設備導入など
機能事業	74	自動車向けゴム製品の生産設備導入など
通信事業	12	RFIDタグ用ゴム製品の生産設備改良など
その他	10	白河第二工場の太陽光発電設置など

法人・分野別設備投資内訳

朝日ラバー	134百万円	全事業
東莞朝日精密橡膠製品 他	29百万円	機能事業

I-3. 中期事業分野

光学事業

主な製品：ASA COLOR LED
ASA COLOR LENS
白色シリコンインキ



「感性、共感」をキーワードに、色と光を制御する技術と感性技術を磨き、自動車の内装照明市場から外装照明、またアンビエント照明に向けた技術開発と提案を進める。

機能事業

主な製品：自動車スイッチ用ゴム
卓球ラケット用ラバー
F-TEM (フレキシブルサーモエレクトリックモジュール)



ビークル分野、エネルギー分野、環境発電分野、スポーツ分野において制御技術と触覚・熱・振動・光関連の技術、感性技術を磨き、将来のライフスタイルの実現への貢献に向けて、弾性無限で人に優しい感性価値を提供する。

医療・ライフサイエンス事業

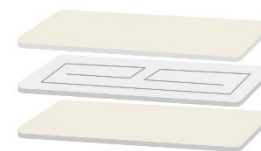
主な製品：プレフィルドシリンジ用ガスケット
採血用・薬液混注用ゴム栓
マイクロ流体デバイス



診断・治療分野、理化学機器分野、介護・予防分野に向けて制御技術と感性技術を磨き、世界の医療現場と患者のQOL (Quality of Life) 向上に貢献する。

通信事業

主な製品：RFIDタグ用ゴム製品
ビーコン



自動認識分野、通信機器分野、センシング分野において、伝える・伝わるセンシング技術、触覚・熱・振動・光関連の技術、感性技術を磨き、ゴムだからこそ実現できる価値を提供する。

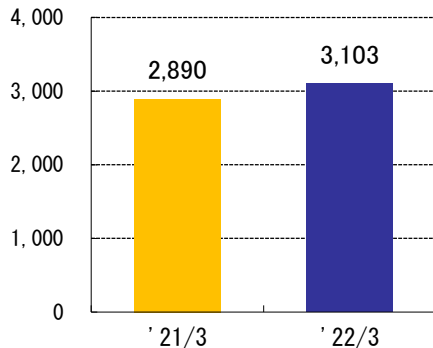
I -4. 連結セグメント別実績 – 中期事業分野

(単位:百万円、%)

事業別売上高	2021年3月期		2022年3月期		前期 増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
光学事業	2,890	44.6	3,103	44.2	7.4
医療・ライフサイエンス事業	1,206	18.6	1,232	17.6	2.1
機能事業	1,759	27.1	2,155	30.7	22.5
通信事業	631	9.7	532	7.6	▲15.7
売上高合計	6,487	100.0	7,024	100.0	8.3

(単位:百万円)

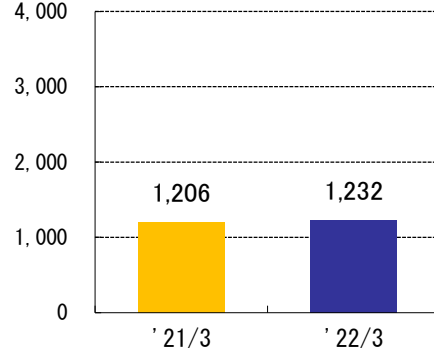
光学事業



●ASA COLOR LEDの受注は、グローバルな自動車市場の回復基調で売上げ増となった。

(単位:百万円)

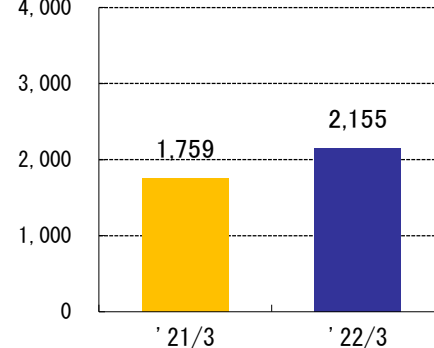
医療・ライフサイエンス事業



●医療用ゴム製品の受注は、一般医療診療を控える動きによる在庫調整が徐々に解消傾向となる。

(単位:百万円)

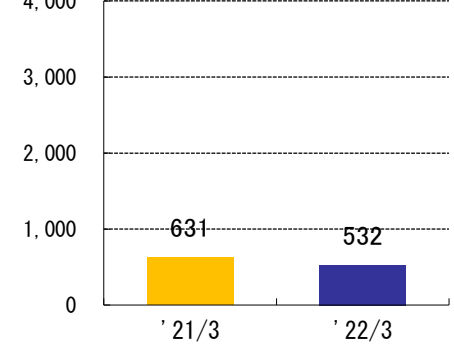
機能事業



●自動車スイッチ用ゴム、卓球ラケット用ラバーの受注が年後半から回復し売上げ増となった。

(単位:百万円)

通信事業



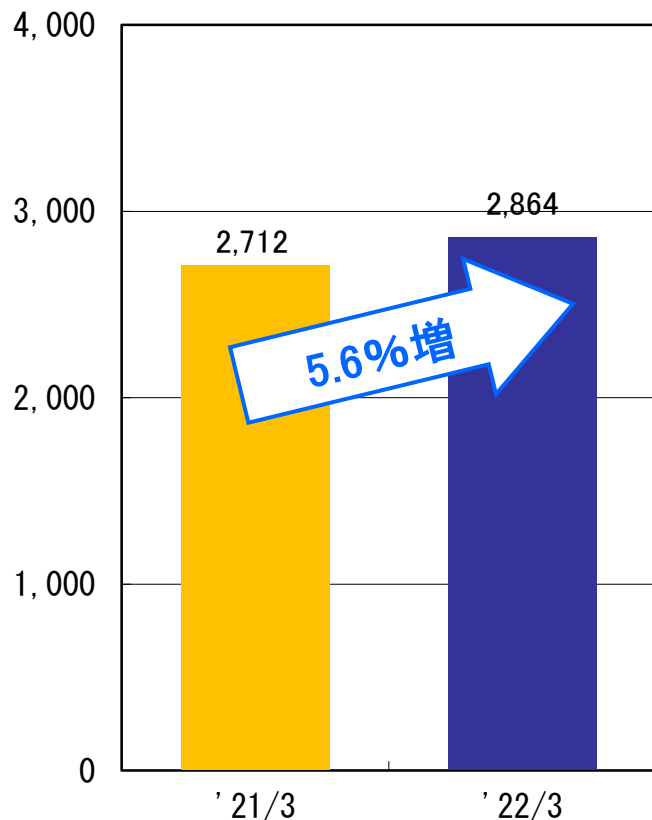
●RFIDタグ用ゴム製品の受注が北米市場での新型コロナの影響を受ける。収益認識基準の変更で'21/3期比で売上高は約80百万円の目減りとなる。

I-5. 主要製品実績 – ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

光学事業

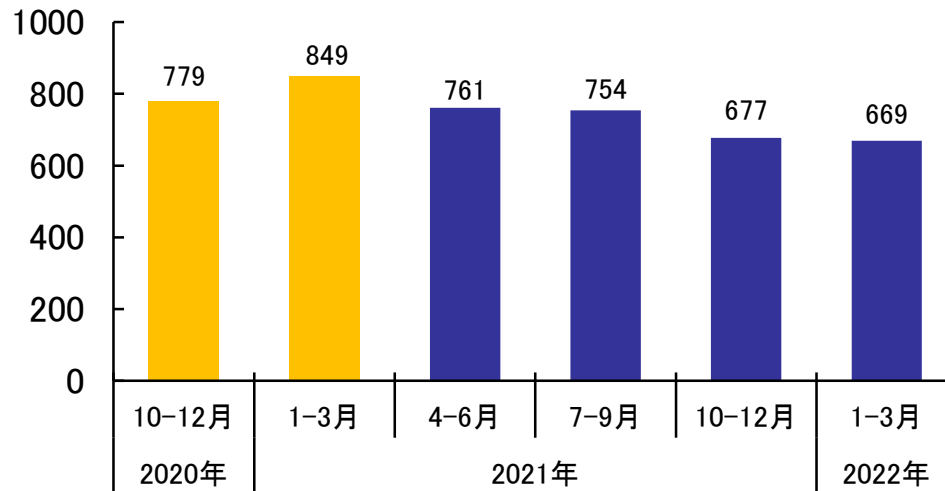
(単位:百万円) 連結売上高推移



ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。

(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移



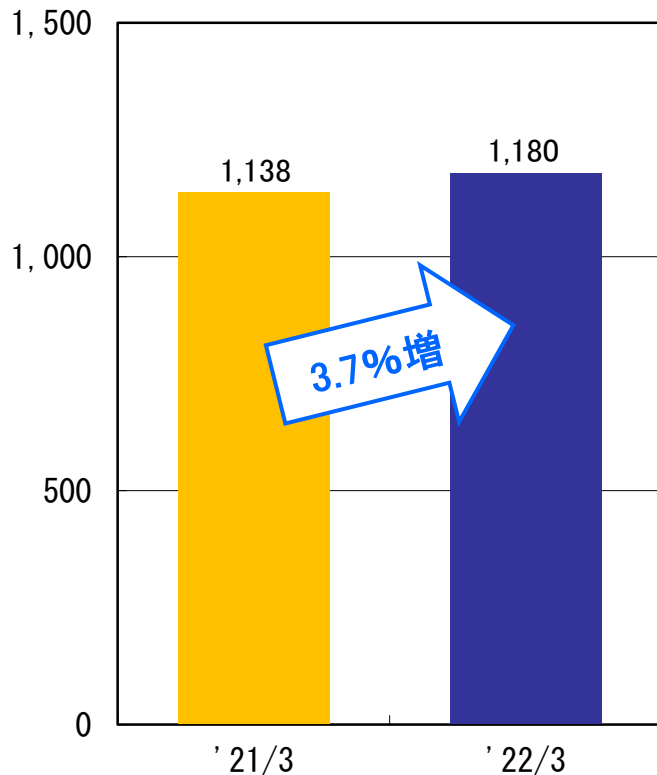
- グローバルの自動車市場の回復傾向となるも、年後半から、半導体不足など材料不足の影響による生産台数の減少の影響を受け、若干減少傾向。

I-5. 主要製品実績－医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

(単位:百万円) 連結売上高推移

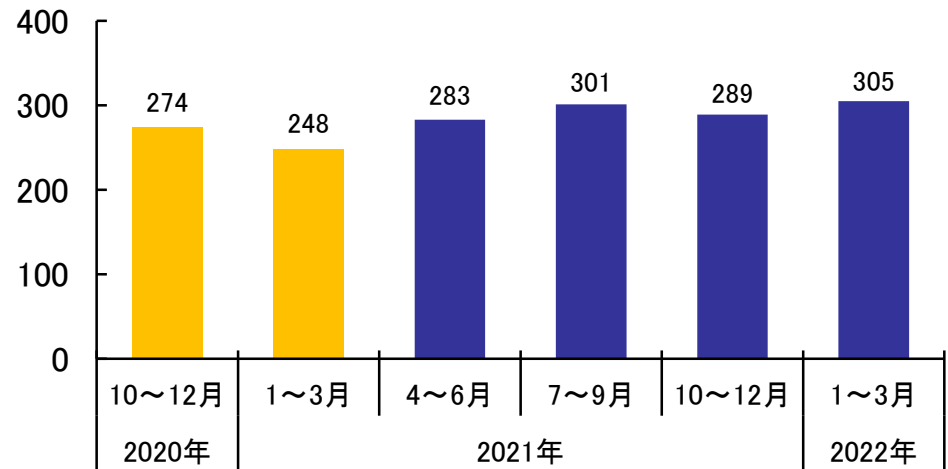


ディスポーザブル用ゴム製品

プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)用ガスケット、採血用・薬液混注用ゴム栓など、使い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。

四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



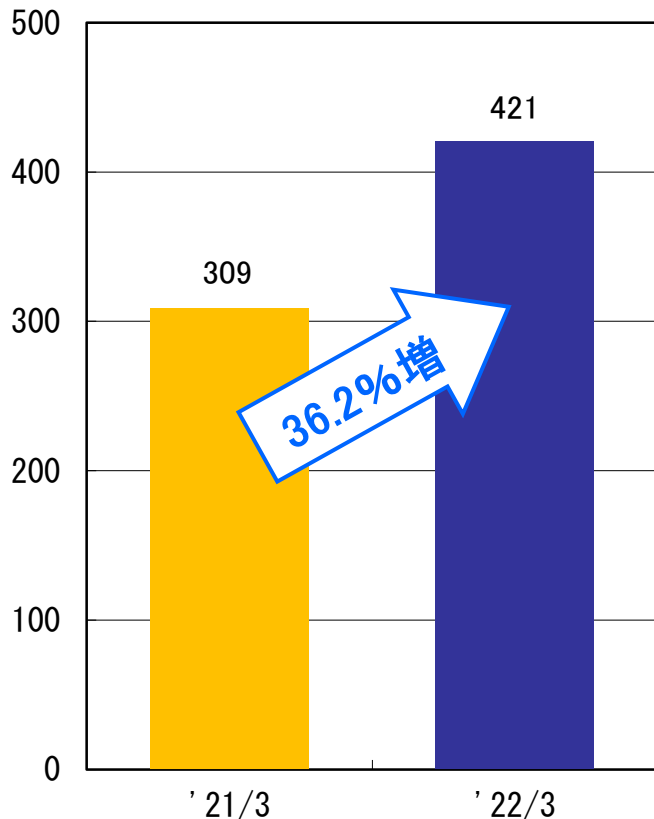
● 新型コロナウイルス感染症の影響により、一般医療の受診控えによる在庫調整が続いていたが、徐々に受注が回復傾向が進む。

I-5. 主要製品実績 – スポーツ用ゴム製品

工業用ゴム事業

機能事業

(単位:百万円) 連結売上高推移



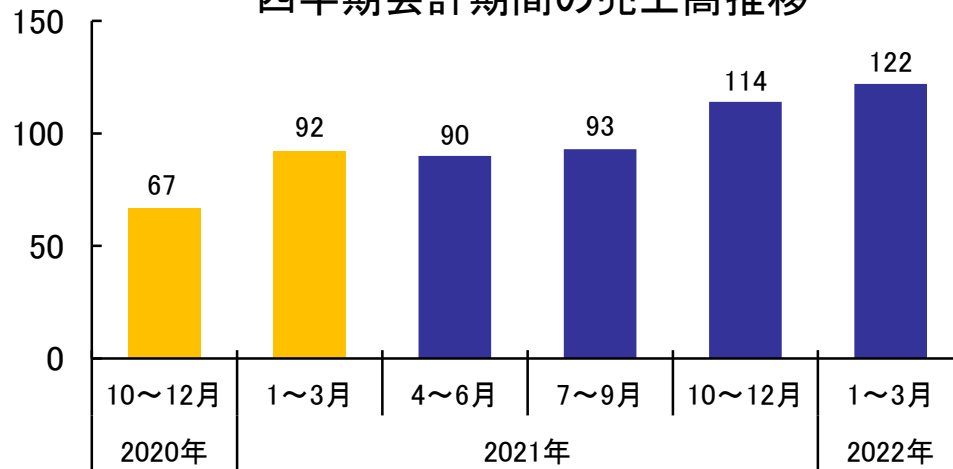
卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



(単位:百万円)

四半期会計期間の売上高推移



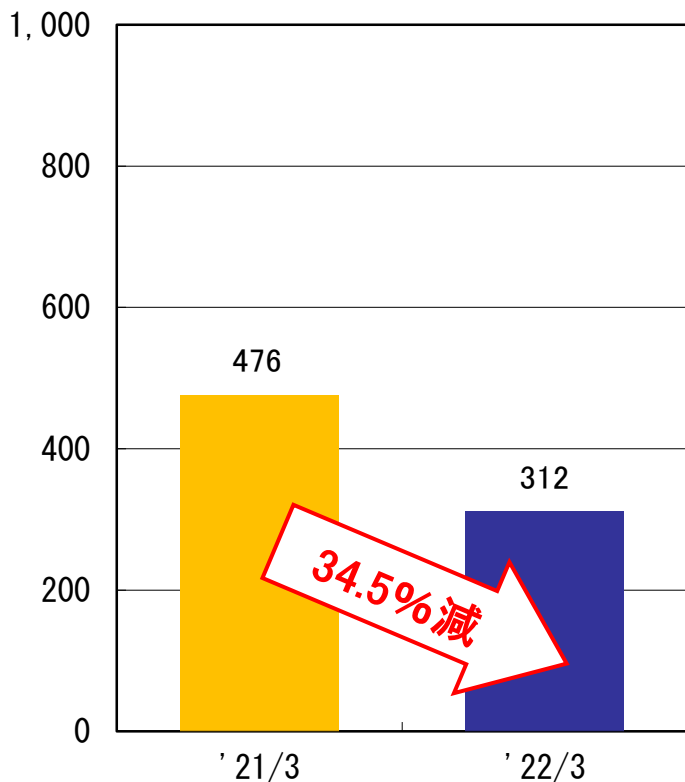
● 東京五輪と競技の再開を受け、受注が回復。

I-5. 主要製品実績 – RFIDタグ用ゴム製品

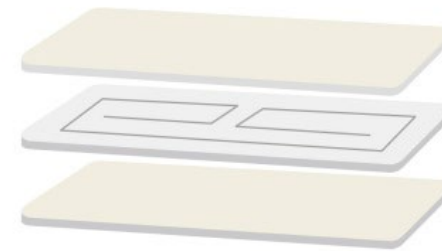
工業用ゴム事業

通信事業

(単位: 百万円) 連結売上高推移

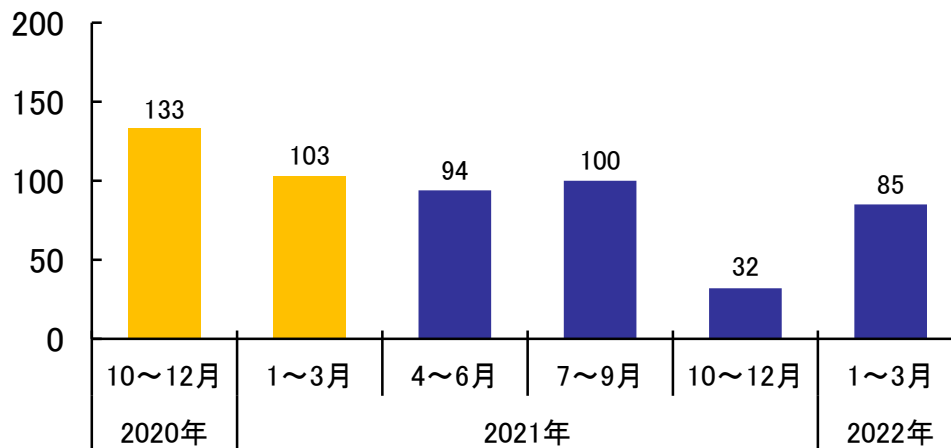


- 溶剤を使わずに接着させる“分子接着・接合技術”を応用し、ICチップやアンテナ部をゴム素材で覆い、折り曲げに強く、耐水性、耐熱性に優れた、柔らかい小型のICタグ。



RFIDタグ用ゴム製品イメージ

(単位: 百万円) 四半期会計期間の売上高推移



- 新型コロナウイルス感染症による北米市場の影響と、半導体不足による生産調整のため、受注環境の不安定が続く。
- 収益認識基準の変更で'21/3期比で売上高は約80百万円の目減りとなる。

I -6. 連結子会社の損益実績

(単位：千円)

	株式会社朝日 F R 研究所		ARI INTERNATIONAL Corp.	
設立	1987年4月		1999年6月	
資本金	10,000,000円		200,000米ドル	
業務内容	ゴム・プラスチックに関する研究		工業用ゴム製品の販売	
研究収入／売上高	181,077	前期増減率	119,639	前期増減率
		10.8%		▲7.6%
経常損益	1,741	▲40.1%	▲14,160	-
当期純損益	1,059	▲51.1%	▲13,282	-

円換算レート：1米ドル110.39円

	朝日橡膠（香港）有限公司		東莞朝日精密橡膠制品有限公司		朝日科技（上海）有限公司	
設立	2005年11月		2010年7月		2012年1月	
資本金	19,700,000香港ドル		17,551,530人民元		50,000,000円	
業務内容	工業用ゴム製品の販売		工業用ゴム製品の製造・販売		工業用ゴム製品の開発・設計・販売	
売上高	341,823	前期増減率	801,725	前期増減率	323,705	前期増減率
		9.8%		37.2%		27.6%
経常損益	▲3,938	-	19,825	-	41,076	200.2%
当期純損益	▲3,796	-	19,823	-	38,247	194.3%

円換算レート：1香港ドル14.20円

円換算レート：1人民元17.13円

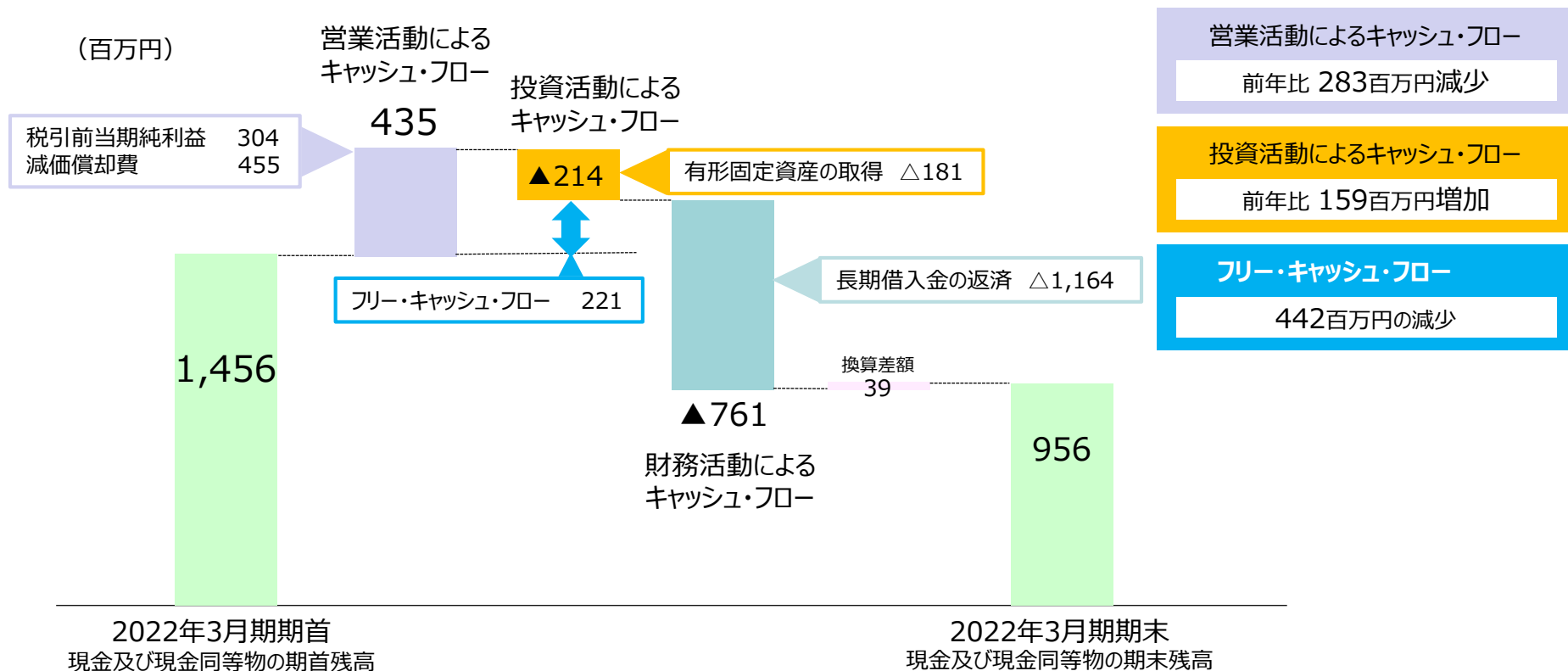
円換算レート：1人民元17.13円

I-7. 連結貸借対照表の状況

(単位:百万円)

	2021年 3月末残高	2022年 3月末残高	差	主な変動理由
流動資産	5,706	5,377	▲329	現金及び預金 ▲475百万円 商品及び製品、仕掛品 +230百万円
固定資産	4,634	4,342	▲292	機械装置及び運搬具 ▲185百万円
資産合計	10,341	9,720	▲621	
流動負債	2,898	2,526	▲372	1年内返済予定の長期借入金 ▲144百万円
固定負債	3,011	2,517	▲494	長期借入金 ▲520百万円
負債合計	5,910	5,043	▲866	
純資産合計	4,430	4,676	+245	
負債純資産合計	10,341	9,720	▲621	

I-8. 連結キャッシュフロー実績



- 新型コロナウイルス感染症の影響から業績回復により、適正な手元資金保有のため長期借入金を返済。

Ⅱ-1. 2023年3月期 経営方針・経営戦略

経営方針

みんなにうれしさをお届けしよう

経営戦略

魅力を高めて出口をつかむ

—デザイン思考で創造的解決を実践する—

スローガン

“動”

II-2. 事業分野別の取り組み（光学事業）



感性光学で快適な照明空間



車載エクステリア空間



車載インテリア空間



高齢化社会に優しい光



よく眠れる光



リラックスできる光



居心地のいい光



集中できる光

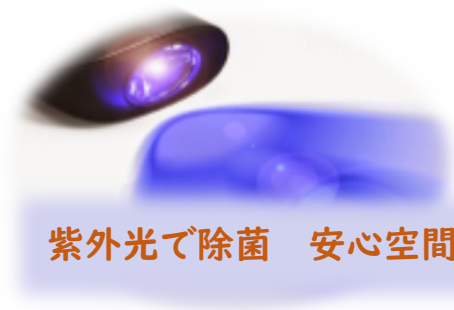
T (時間) P (場所) O (場合) に合った明かりを提供して「コト」を叶えます



一般照明空間



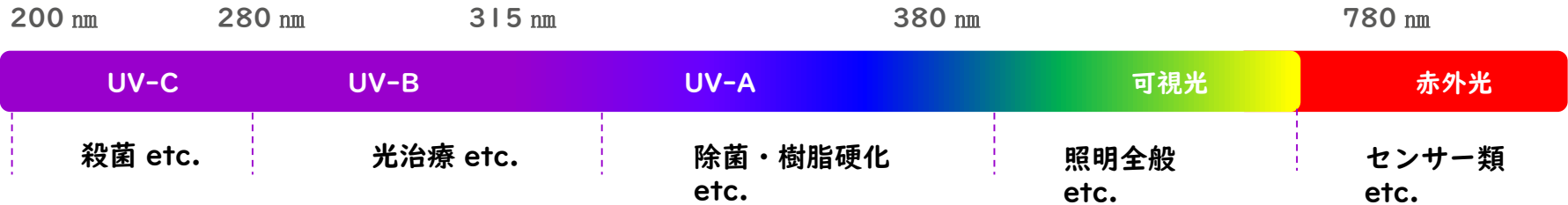
居住空間



紫外光で除菌 安心空間

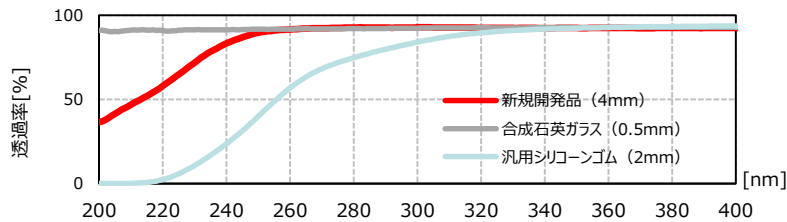
II-2. 事業分野別の取り組み（光学事業）

深紫外線から赤外線まで幅広く対応しモジュール視点で展開してまいります



令和2年度イノベーション技術創出支援補助金補助事業（さいたま市）

ウイルス不活性化のための深紫外線LEDシステムの研究開発及び実証試験



UV-LED+LENS仕様



殺菌効果確認試験（イースト菌を使用）

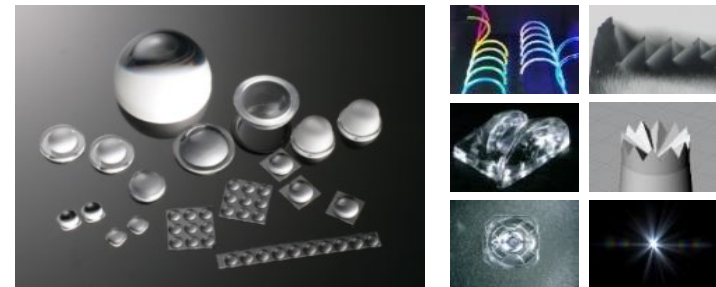


UV-LEDS



+LENS

ASA COLOR LENS



多彩な形状を再現

フレネル・フライアイ・シリンドリカルレンズ など

II-2. 事業分野別の取り組み（医療・ライフサイエンス事業）

回路製品の拡充・超親水性技術の基礎技術を鍛えます

診断・治療分野

疾病の診断・治療・予防用機器に貢献



輸液バック用ゴム栓



薬液混注用ゴム



シリンジガasket



真空採血管用ゴム



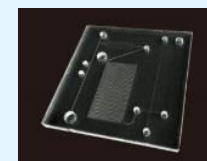
ARチェックバルブ

理化学機器分野

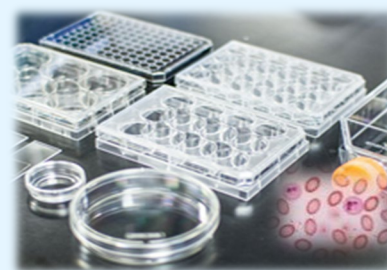
医療従事者などが使用する道具に貢献



AR超薄膜シリコンシート

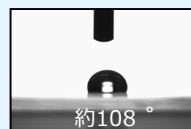


マイクロ流体デバイス



機能性培養容器

従来シリコンゴム



約108°

超親水性シリコン



約10°

超親水性シリコン

Ⅱ-2. 事業分野別の取り組み（医療・ライフサイエンス事業）

白河第二工場でISO13485を取得して
多くの医療現場の課題に挑戦します

ガラス・樹脂部品・親水処理

樹脂部品・スリット加工

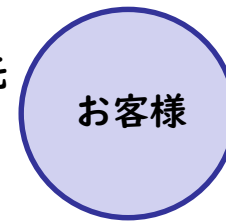
バレル・押し子・摺動性コーティング



共有・提携・受託



共有・提携・受託



II-2. 事業分野別の取り組み（機能・通信事業）

フレキシブルペルチェ・筋電デバイスの製品化を目指します



車載スイッチ



卓球用具



温調コントロール

T (時間) P (場所) O (場合) に合った

快適性を提供して

「コト」を叶えます

応力解析

バーチャル空間を科学する

動作解析

見えない動きを科学する

伝熱解析

心地よさを科学する



ロボット・ゲーム機器



スポーツセンシング



筋電デバイス



ウェアラブル（熱電発電）

II-2. 事業分野別の取り組み（機能事業）

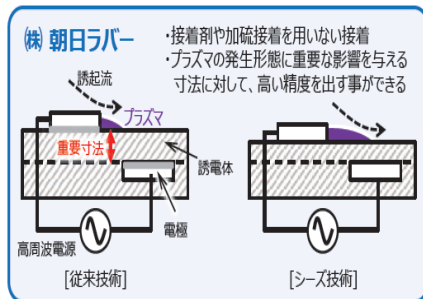
多くの風車発電機で実証実験を行いゴム素材の良さを証明いたします

風力発電向け製品（再生エネルギー分野）



気流制御電極

プラズマ気流を発生させ
空気の流れを制御できる電極



洋上や山間で回り続ける風車は
常に過酷な自然環境に晒されています



保護シート・カバー

耐エロージョン性を
付与した保護シート・カバー



ダイバータストリップ

高耐久・落下防止・施工性を
兼ね備えた落雷対策部品

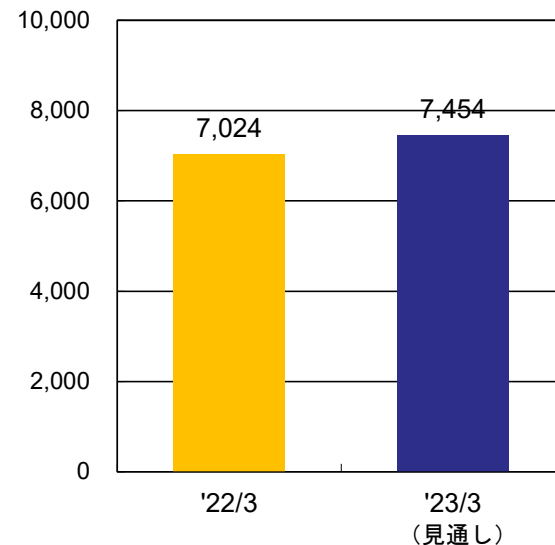
II-3. 2023年3月期連結決算見通し（前期比）

（単位：百万円、％）

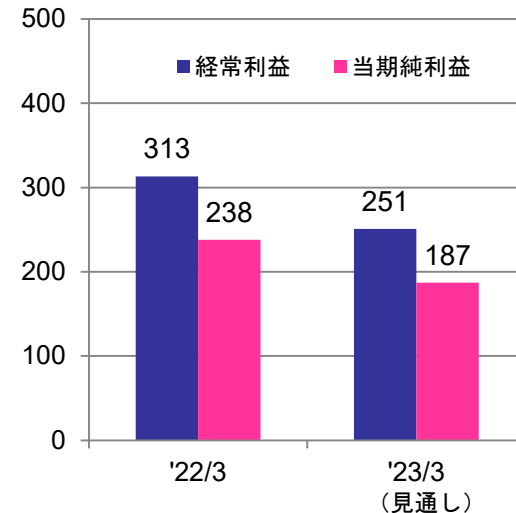
	2022年3月期		2023年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
売上高	7,024	100.0	7,454	100.0	6.1
売上総利益	1,691	24.1	1,781	23.9	5.3
営業利益	291	4.1	255	3.4	▲12.5
経常利益	313	4.5	251	3.4	▲19.8
当期純利益	238	3.4	187	2.5	▲21.6

- 市場回復傾向から増収見込み。
- ウィズコロナ環境での活動を広げることから販管費が増加予定。

（単位：百万円） 連結売上高見通し



（単位：百万円） 連結利益見通し



（単位：百万円、％）

セグメント別	2022年3月期		2023年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	5,830	83.0	6,180	82.9	6.0
医療・衛生用ゴム事業	1,193	17.0	1,274	17.1	6.7
売上高	7,024	100.0	7,454	100.0	6.1

Ⅱ-4. 2023年3月期連結決算見通し（上期下期比較）

（単位：百万円、％）

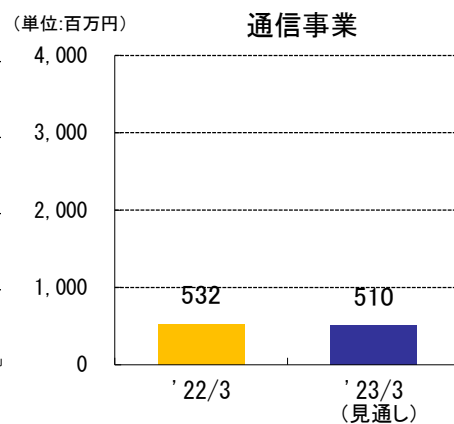
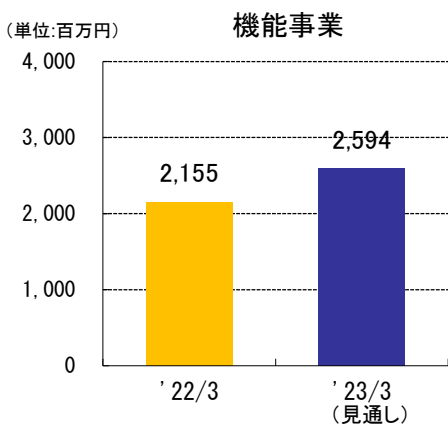
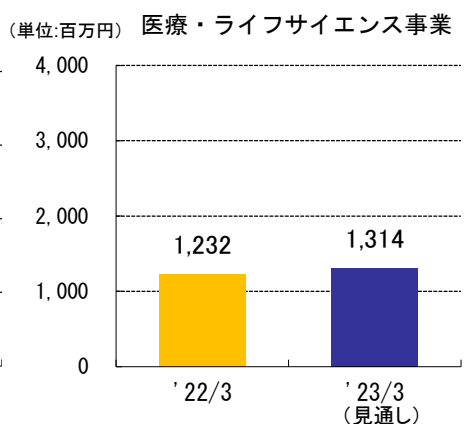
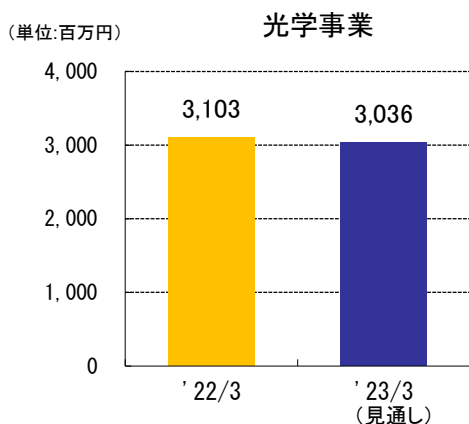
	上期 (2022年4月～9月)			下期 (2022年10月～2023年3月)			通期 (2022年4月～2023年3月)		
	見通し	構成比	前年同期 増減率	見通し	構成比	前年同期 増減率	見通し	構成比	前期 増減率
売上高	3,610	100.0	▲0.6	3,844	100.0	13.3	7,454	100.0	6.1
売上総利益	807	22.4	▲6.8	974	25.3	17.9	1,781	23.9	5.3
営業利益	59	1.6	▲66.5	196	5.1	70.1	255	3.4	▲12.5
経常利益	57	1.6	▲68.0	194	5.0	43.8	251	3.4	▲19.8
純利益	37	1.0	▲72.7	150	3.9	45.9	187	2.5	▲21.6

- 中国の新型コロナウイルス感染対策の都市封鎖の影響は、長くは続かないと予測するものの、特に自動車関係の市場や顧客事業の回復は夏以降になる見込みから、上期は厳しい見通し。
- 下期はウィズコロナ環境での経済活動が広がる見通しや、新規受注予測もあり、業績が回復する見通し。
- 材料価格高騰は販売価格への転嫁交渉がほぼ終了するも、さらなる値上げの情報もあるため、原価低減活動と併せて交渉を進める。
- ロシア・ウクライナ情勢は、当社事業に直接の影響はないものの、長期化するとエネルギーコストなど様々な方面で影響を受ける可能性がある。

II-5. 中期事業分野別見通し

(単位:百万円、%)

事業別売上高	2022年3月期		2023年3月期		前期増減率
	実績	構成比	見通し	構成比	
光学事業	3,103	44.2	3,036	40.7	▲2.2
医療・ライフサイエンス事業	1,232	17.6	1,314	17.6	6.6
機能事業	2,155	30.7	2,594	34.8	20.4
通信事業	532	7.6	510	6.8	▲4.2
売上高合計	7,024	100.0	7,454	100.0	6.1



●ASA COLOR LEDの受注が、足元の自動車生産調整の影響を受け若干減。

●一部の医療用ゴム製品の在庫調整は、第1四半期まで継続の見込みだが、以降回復の見通し。

●スイッチ用ゴムなど自動車向けが市場の回復を受け受注増。卓球ラケット用ラバーの受注もさらに回復する見通し。

●RFIDタグ用ゴム製品の受注は徐々に回復傾向だが、事業全体ではほぼ横ばい。

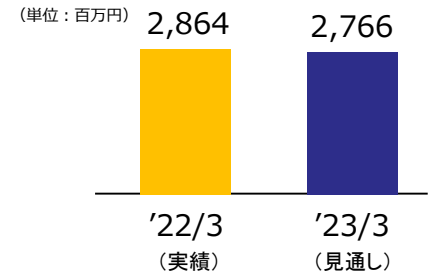
II-6. 主要製品の通期売上見通し

ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

光学事業

- ・自動車市場は回復傾向だが、足元で一部の市場でのロックダウンの影響が見られる。
- ・2022年度は、世界情勢不安や材料価格高騰の影響により市場の先行きが不透明。

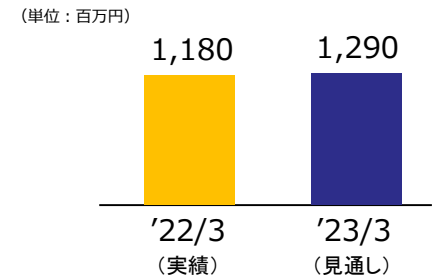


医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

- ・一部の用途の製品の在庫調整の解消傾向は徐々に継続する見通し。
- ・逆止弁の新規製品の市場投入を急ぐ。

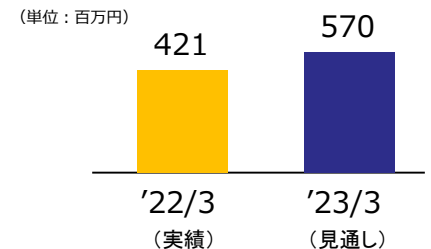


卓球ラケット用ラバー

工業用ゴム事業

機能事業

- ・市場の需要回復により、さらに受注が拡大する見通し。
- ・既存製品の受注増と年後半からの新製品の生産スタートで売上高増加の見込み。

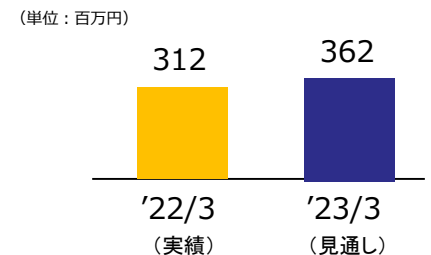


RFIDタグ用ゴム製品

工業用ゴム事業

通信事業

- ・北米市場の回復や半導体不足の不透明さがあるものの、受注は徐々に回復傾向。



II-7. 2023年3月期連結設備投資計画

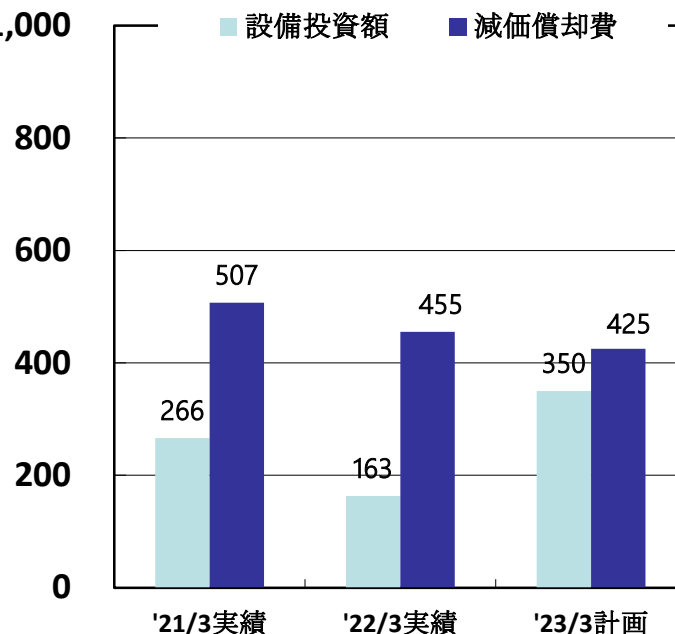
設備投資額 約350百万円

減価償却費 425百万円

(単位:百万円)

1,000

事業分野別設備投資内訳	
光学事業	65百万円
医療・ライフサイエンス事業	90百万円
機能事業	135百万円
通信事業	35百万円
その他	25百万円



法人・分野別設備投資内訳

朝日ラバー	305百万円	全事業
東莞朝日精密橡膠制品	45百万円	機能事業

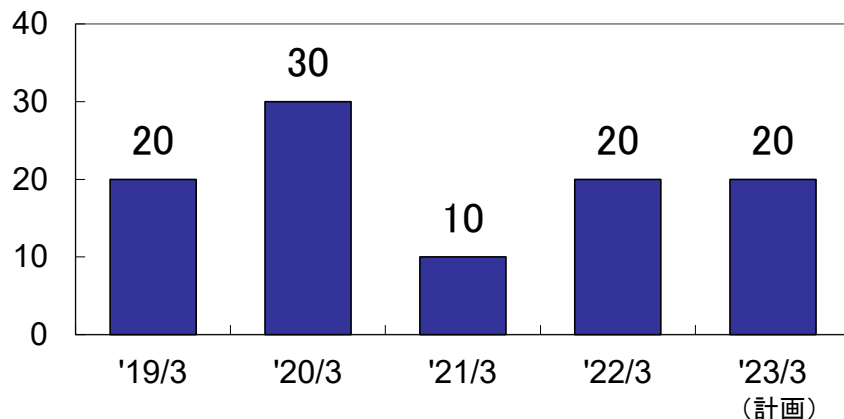
- 機能事業の自動車向けゴム製品と卓球ラケット用ラバーの受注増に対する増産投資を予定。

Ⅱ-8. 2023年3月期配当計画

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
中間配当	—	10円	10円 (計画)
期末配当	10円	10円 (予定)	10円 (計画)
年間	10円	20円 (予定)	20円 (計画)

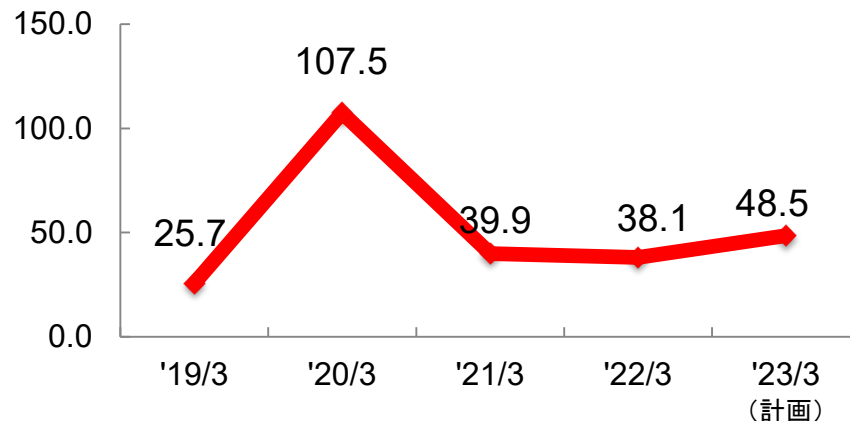
(単位:円)

一株当たり配当金推移



(単位:%)

連結配当性向推移



- 業績が安定していることから、中間配当、期末配当とも一株当たり10円を計画。

お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先
株式会社朝日ラバー 管理本部経営企画部
TEL 048-650-6056